

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和3年4月15日(2021.4.15)

【公開番号】特開2019-167981(P2019-167981A)

【公開日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報2019-040

【出願番号】特願2018-54216(P2018-54216)

【国際特許分類】

F 16 K 1/00 (2006.01)

F 24 H 1/00 (2006.01)

F 16 K 31/04 (2006.01)

【F I】

F 16 K 1/00 R

F 24 H 1/00 Z

F 16 K 31/04 K

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月24日(2021.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

液体流通用の第1の流路の一端側に該第1の流路と交わる方向に伸設された流路分岐用通路が接続形成され、該流路分岐用通路の一端側からは液体流通用の第2の流路が伸設形成され、前記流路分岐用通路には流路開閉弁が設けられて、該流路開閉弁は前記流路分岐用通路の伸長方向に伸長されて該流路分岐用通路の伸長方向に沿って移動自在に設けられたロッドと、該ロッドの一端側に設けられた弁体とを有して、該弁体は前記ロッドに抜け止め状態で該ロッドの伸長方向に摺動自在に設けられ、該ロッドの外周側には一端側が前記弁体に支持されたバネ体が前記ロッドに抜け止め状態で該ロッドの伸長方向に伸縮自在に設けられており、前記流路開閉弁は、前記ロッドを前記流路分岐用通路の伸長方向に沿って進退移動させることにより、前記弁体を該弁体の弁閉位置として前記第1の流路と前記第2の流路との液体流通を断つ非接続状態と、前記弁体を該弁体の弁閉位置から離れる方向に前記ロッドに運動させて移動させることにより前記第1の流路と前記第2の流路との間に液体を流通させる接続状態とを切り替え自在と成していることを特徴とする二方弁。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

本発明は上記目的を達成するために、次の構成をもって課題を解決する手段としている。すなわち、第1の発明の二方弁は、液体流通用の第1の流路の一端側に該第1の流路と交わる方向に伸設された流路分岐用通路が接続形成され、該流路分岐用通路の一端側からは液体流通用の第2の流路が伸設形成され、前記流路分岐用通路には流路開閉弁が設けられて、該流路開閉弁は前記流路分岐用通路の伸長方向に伸長されて該流路分岐用通路の伸長方向に沿って移動自在に設けられたロッドと、該ロッドの一端側に設けられた弁体とを

有して、該弁体は前記ロッドに抜け止め状態で該ロッドの伸長方向に摺動自在に設けられ、該ロッドの外周側には一端側が前記弁体に支持されたバネ体が前記ロッドに抜け止め状態で該ロッドの伸長方向に伸縮自在に設けられており、前記流路開閉弁は、前記ロッドを前記流路分岐用通路の伸長方向に沿って進退移動させることにより、前記弁体を該弁体の弁閉位置として前記第1の流路と前記第2の流路との液体流通を断つ非接続状態と、前記弁体を該弁体の弁閉位置から離れる方向に前記ロッドに連動させて移動させることにより前記第1の流路と前記第2の流路との間に液体を流通させる接続状態とを切り替え自在と成している構成を持って課題を解決する手段としている。